

地域における Photovoice の試み(例)

2180XXXX 日赤 花子
指導教員 宗像 太郎

地域における高齢者の様々なニーズを把握し、住民のコンセンサスを得る方法として、Photovoice の応用を試み、Needs Assessment としての応用可能性を検討した。離島における高齢者の様々なニーズを把握し、住民のコンセンサスを得る方法として、Photovoice の応用を試み、Needs Assessment としての応用可能性を検討した。高齢者の様々なニーズを把握し、住民のコンセンサスを得る方法として、Photovoice の応用を試み、Needs Assessment としての応用可能性を検討した。離島における高齢者の様々なニーズ¹⁾を把握し、住民のコンセンサスを得る方法として、Photovoice の応用を試み、Needs Assessment としての応用可能性を検討した。

キーワード：Photovoice、住民参加、アクションリサーチ、Needs Assessment

1. はじめに

Photovoice は 1996 年にミシガン大学の Wang らによって提唱された参加型アクションリサーチアプローチである¹⁾。そのアプローチは、住民が一定のテーマで写真を撮影し、その写真に「ボイス」を付けグループ討議することによって、課題を共有化し、解決方法を住民自らが発見するものである。その目的は、①住民による個人や地域の資源、関心の記録を可能にする、②写真のグループ討議を通じて、批判的対話を高め問題に関する知識を増やす、③政策立案者を動かす、とされており、とくに社会的弱者の社会参加や Needs Assessment の手法としても活用されている。

日本においては、Photovoice についての紹介や実践がほとんど行なわれていない。海外の文献から方法論的検討を行なうとともに、われわれが沖縄県離島において試みている事例を通して、その応用可能性を検討する。

2. 研究の目的

沖縄県離島において試みている事例を通して、離島における高齢者の様々なニーズを把握し、住民のコンセンサスを得る方法として Photovoice の Needs Assessment としての応用可能性を検討する。

3. 研究の方法

1) 研究デザイン

アクションリサーチ

2) 用語の定義

本研究においては、Photovoice を「・・・・・・・・・・」と定義した。

3) 研究の対象

Photovoice の参加者は、A 県の人口約 5 千人の町の小学校 3 年生以上 ●●35 人である。・・・・・・・・・・。

4) データの収集期間

20XX 年●月～●●月までの期間、A 県の二つの町にて収集した。

5) データの収集方法

離島における高齢者の様々なニーズを把握し、住民のコンセンサスを得る方法として、Photovoice の応用を試み、Needs Assessment としての応用可能性を検討した。Photovoice の参加者は、A 県の B 町の小中学校 3 年生以上 35 人、A 県の C 町の小学校 4 年生以上 58 人で、24 枚撮りのインスタントカメラを学校を通じて配布・回収した。小中学校の総合学習への活用も考慮して、B 町では「好きなところとおじいちゃん、おばあちゃん」、C 町では「お年よりのゆとりのある暮らし」という、比較的広いテーマを採用した。

6) データの分析方法

・・・・・・・・・・(表 1)。

4. 研究倫理の確保

研究参加者を募る際、対象候補者の通学する小学校に・・・・・・・・・・。

5. 結果

1) Photovoice に関する文献的検討

(1) エンパワーメント教育としての活用

Photovoice の先駆け（当時は Photo Novella と呼ぶ）となったこの論文において、Wang らは Photo Novella の基盤には Freire 理論を応用したエンパワーメント教育、フェミニスト理論、ドキュメンタリー写真術の三つがあることをまず述べている³⁾。

以上、この論文から読み取れる方法的な留意点は①参加者の偏りを避ける、②事前に訓練を行なう、③グループ討議にファシリテーターをおく、④地域の異なる写真も討議する、⑤展示によって“声”をひろげる、である。

(2) 参加型ヘルスプロモーションとしての活用

この論文は、中国雲南省でのプロジェクト⁴⁾を事例に、Photovoice を参加という視点から検討したものである。Photovoice の段階別に住民の参加を抜き出すことができる。一般住民の参加する Photovoice の段階では、撮影は参加者本人だけでなく、家族や隣人も行なっている。グループディスカッションには、外部と内部のファシリテーターが可能で、雲南省の事例では外部は外人のテクニカルアドバイザー、内部は地方婦人会の中心メンバーや農村女性である。

2) 地域での Photovoice の事例検討

(1) Community Assessment としての Photovoice の試み—高齢者の Needs Assessment—

各グループのワークショップ(写真1)を通じて、Photovoice に子どもが参加することの利点として、①子どもが撮影することで警戒感をいわず、高齢者のありのままの姿が表現できる、②高齢者の生活する様々な場面に入り込むことができる、③低いアングルから環境をとらえることができる、④既成の概念枠にとらわれずに眺めることができる、⑤グループ討議において撮影者を意識せずに発言できる、などが考えられた(図1)。

(2) 子どもが参加することの長所・限界・制約

一方、子どもが参加することでの制約として、①子どもの行動圏に限界がある、②肖像権についてのインフォームドコンセントが難しい、③研究上の限定したテーマに合った写真が少ない、④子どもの「ボイス」は解決策に直接にはむすびつかない、などが考えられたので、今後、改善・配慮していく必要がある。肖像権の問題は、グループ討議には撮影者だけでなく、写された人々も積極的に参加し自らも「ボイス」をつけることや他地域との写真による相互交流を推し進めることによって解決できると考えられる。

6. 考察

1) Wang による Photovoice の方法論

Photovoice について文献検索した結果、提唱者 Wang の関与したものしか見つからなかった。そこで、今まで紹介してきた、Wang の主要論文からその方法論について現段階でのまとめをしておきたい。Photovoice では統計的分析を行なわない質的な方法であるので、参加者はランダムサンプリングで選ぶのではなく・・・・・・・・・・。

2) Community Assessment 手法としての評価

(1) 質的・定性的な診断

子どもによる Photovoice は、Community Assessment の手法として①子どもが（その多くは）無意識に撮影し写真から参加者が質的なものを抽出することによって・・・・・・・・・・

(2) 参加者の「ボイス」付与

参加者の「ボイス」付与、グループ討議の過程を通じて解決に向けた動機づけがはかられる手法である・・・・・・・・

7. 結論

1) Photovoice に関する文献的検討

Photovoice の先駆け（当時は Photo Novella と呼ぶ）となったこの論文において、Wang らは Photo Novella の基盤には Freire 理論を応用したエンパワーメント教育、フェミニスト理論、ドキュメンタリー写真術の三つがあることをまず述べている

2) 参加型ヘルスプロモーションとしての活用

この論文は、中国雲南省でのプロジェクト4) を事例に、Photovoice を参加という視点から検討したものである。Photovoice の段階別に住民の参加を抜き出すことができる。一般住民の参加する Photovoice の段階では、撮影は参加者本人だけでなく、家族や隣人も行なっている。

8. 謝辞

本研究を進めるにあたり、ご指導くださった〇〇教授に感謝いたします。また、本研究に快くご協力くださった方々に厚く御礼を申し上げます。

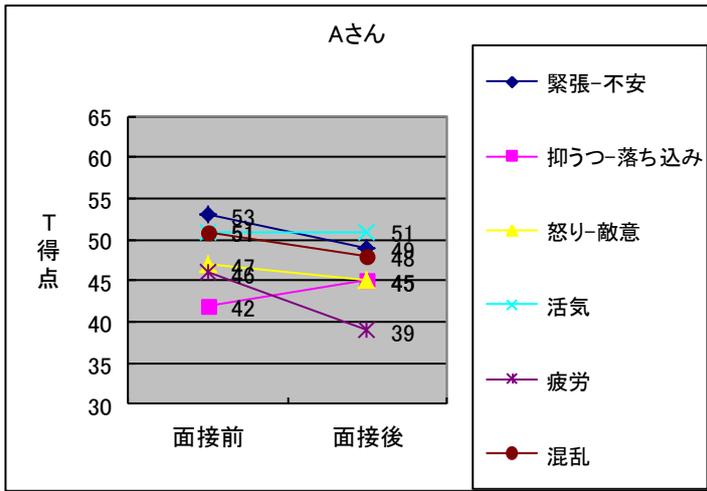
9. 文献

- 1) Wang, C.C., Yuan, Y.L., Feng, M.L.: Photovoice as a tool for participatory evaluation: the community's view of process and impact, *Journal of Contemporary Health*, 4(3): 47-49, 1996.
- 2) 田村やよひ: 看護臨床研修の法制化に寄せて. *日本看護科学会誌* 29(3): 1, 2009.
- 3) Nightingale, F.: *Notes on Hospitals* (3rd ed.). 1863, 薄井坦子訳: 病院覚え書. ナイチンゲール著作集第2巻. 301, 東京, 現代社, 1974.
- 4) 樋口昌彦: コミュニケーション技術への視線: プロセスレコードの社会学的研究. 山中浩司編: *臨床文化の社会学*. 京都, 昭和堂, 47-48, 2005.
- 5) 中央教育審議会. “教育進行基本計画について—「教育立国」の実現に向けて—(答申).” 文部科学省. http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm, (参照 2017-06-15).

表1 OOO (MSゴシック9ポイント、太字、左寄せ)



写真1 ○○
(MSゴシック9ポイント、太字、中央寄せ)



注) 活気以外の気分尺度は得点が下がれば気分が改善されたことを示す

図1 ○○○

(MSゴシック9ポイント、太字、中央寄せ)